

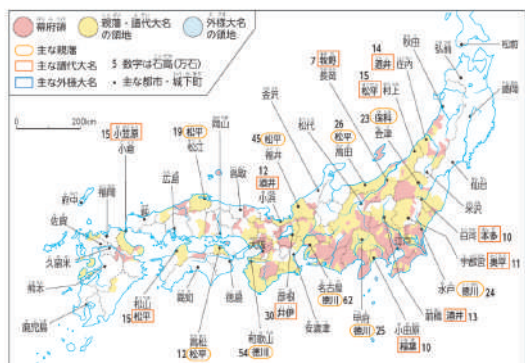
◆ 指導者用デジタル教科書（教材）の紹介 ～歴史～



指導意図に沿った図版の表示

地図や表、グラフなどの資料の一部を隠して提示できます。焦点化して注目させたり、「見せない」ことで生徒の思考を促したりすることができるため、発問や課題の提示につなげやすく、生徒の資料読解力を培うのに役立ちます。

4 主な大名の配置



表示したい凡例を選択

▲p.115

画像を最大化

写真や図版をこれまで以上に大きく表示できるようになり、生徒の興味・関心をさらに高めることができます。

<令和3年度版>

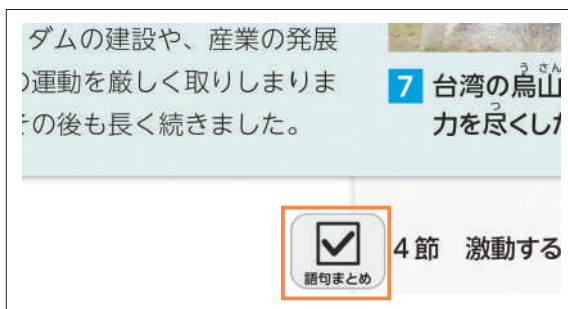


<令和7年度版>



▲p.34

単元のまとめ、振り返りに役立つコンテンツ



▲p.187

太字語句について、見開きごとに一覧で表示することができます。

語句、説明いずれかを非表示にすることが可能なため、授業のまとめや振り返りなどを短時間でを行う際に役立ちます。見開きに設置されたアイコンをクリック、またはサイドバーから単元を選択して表示することができます。



語句まとめ

説明	語句
1894年に朝鮮南部で起こった、東学を信仰する農民による反乱。外国勢力の進出と政府に対する不満により立ち上がった。	
1894年に始まった日本と清との戦争。甲午農民戦争をきっかけに朝鮮半島を戦場として行われ、日本の勝利に終わった。	下関条約
	三国干渉
1900年に伊藤博文によって自らを代表として結成された政党。	

説明を全て表示

語句を全て表示

全てを表示

◆ 授業にピタッ! とデジタル教科書：歴史の活用実践例



古代の学習でのデジタル教科書活用例 ～資料をもとに考えさせる活動の充実を目ざして

(東京都公立中学校 教諭)

単元名 第2章 原始・古代の日本と世界 4節 貴族社会の発展
「12 木簡と計帳は語る」(教科書 p.44-45)

本時の目標 班田収授の法や租・調・庸のしくみについて理解するとともに、律令制の進展が、貴族や豪族と農民の暮らしをどのように変化させ、それらがどのように結びついているか考察する。

《本時の展開例》

	学習活動	留意点	デジタル教科書・教材
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> 4節の問いを提示する。 【4節の問い】大陸から伝わった文化や制度は、日本の社会にどのような変化をもたらしたのだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ①権力を伸ばすのはだれか ②文化はどう変化するか <p>の2点について、これまでの学習内容や、小学校での学習事項を根拠として予想させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの教科書のページをスクリーンに提示する。
展開 (35分)	<p>学習課題 律令制のもとで、都の貴族や地方の農民は、どのような暮らしをしていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平城京の成立について学習する。 律令制の進展により、 ①貴族や豪族 ②農民 の生活はどのように変化したか、3～4人のグループで分担し、教科書、資料集などで調べる。 それぞれの立場から調べた内容を発表し、学習内容を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習の年代を確認させる。 それぞれの暮らしの特徴と、その背景となる歴史的事象を、分担してまとめさせる。どの資料を根拠としたか明記させる。 貴族の生活が農民の税により支えられたこと、農民の重い負担が逃亡につながり、墾田永年私財法制定の背景となったことなど、歴史的事象の結びつきを確認させる。 数名に、どのような資料を根拠に考察したか発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> p.44の見出しを拡大し提示する。 ▲ NHK for School 動画リンクから、「平城京」の動画を視聴する。 並置機能で、p.44 1(平城京)を、p.38 2(長安城)、p.43 6(藤原京)と並べて提示する。 p.45 9 10(貴族と庶民の食事の例)やp.45 7(計帳に記された内容)などを提示する。 資料を拡大して提示し、ペン機能で重要な箇所を強調する。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習をまとめ、学習課題に対する振り返りを行う。 4節の問いについて、現時点の考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 冒頭で立てた予想と異なっていた点や、新たに学習した点に着目して振り返りシートに記入させる。 4節の問いに関しては次時以降も引き続き学習することを伝える。 	<p>デジタル教科書(教材)で活用する機能の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 拡大 ▲ 動画

指導にあたって

● 学習内容が多い歴史的分野において、現行学習指導要領で求められる「社会的な見方・考え方ははたらかせ、課題を追究したり解決したりする活動」と、その土台となる基礎的な知識の習得を両立するためには、1時間の中で、教えること、考えさせることのメリハリをつけることが重要である。この単元の前半では、**動画コンテンツの活用や視覚資料の提示**を通して、必要な知識の習得を効率よく行う。それによって、節の学習を見通したり振り返ったりする活動や、資料を根拠として貴族や豪族・庶民の生活の変化について考察する活動など、「考えさせる」時間を確保したい。

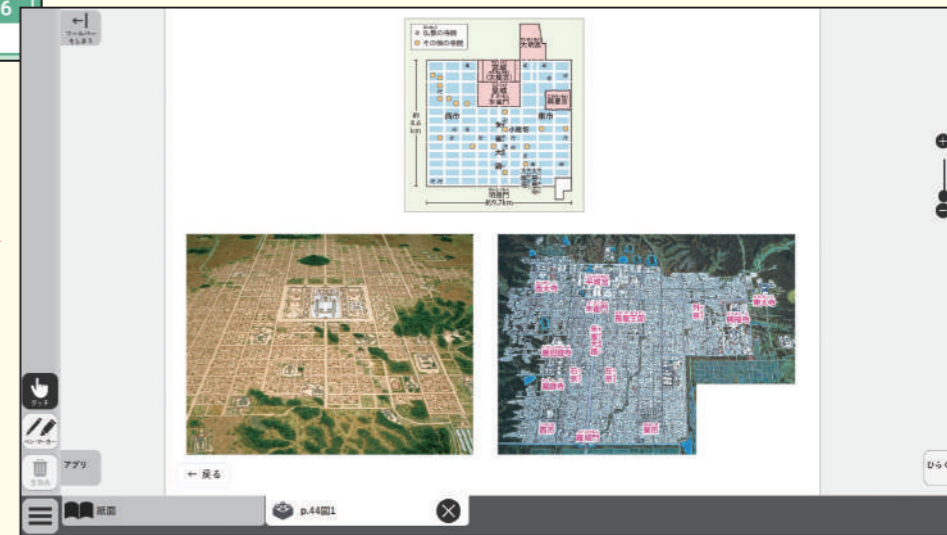
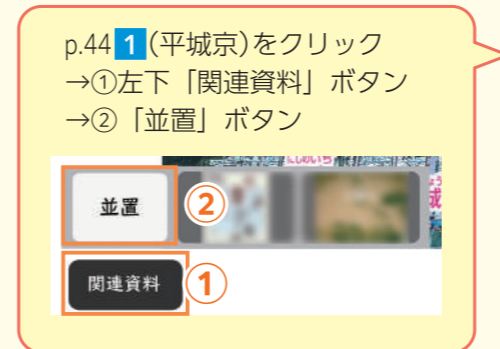
● 社会科の資質・能力全体に関わるとされる「社会的な見方・考え方」をはたらかせるためにも、デジタル教科書の強みを生かすことが有効であると考えられる。デジタル教科書を活用すれば、**生徒に注目させたい資料を自在にスクリーンに投影**できる。この授業では、どの年代を学習しているかが一目でわかる「見出し」のほか、p.45 **7** (奈良時代の計帳の内容)、p.45 **9 10** (貴族と庶民の食事の例) など、律令制の進展による貴族や庶民の生活の様子に関する資料を提示する。社会的事象の歴史的な見方・考え方の最初のステップである「時期・推移」について、資料をもとに考察させたい。

デジタル教科書活用のねらい

● 平城京の成り立ちについて理解し、奈良時代の都の様子への関心を高めるために、NHK for Schoolの動画や、p.44 **1** (平城京)を活用する。NHK for Schoolの動画には、**デジタル教科書上のアイコンから、直接アクセス**することができる。また、p.44 **1**は、拡大して「**関連資料**」→「**並置**」のアイコンを選択すると、藤原京や唐の長安城の図を平城京の様子と**並べて示す**ことができる。これにより、当時の都が中国にならって建設されたことや、そのスケールの大きさについての理解を助けることが期待される。



◀ デジタル教科書 p.44 NHK for School の動画リンクのアイコン



▲ デジタル教科書 p.44 より、長安城、藤原京、平城京を並置した画面

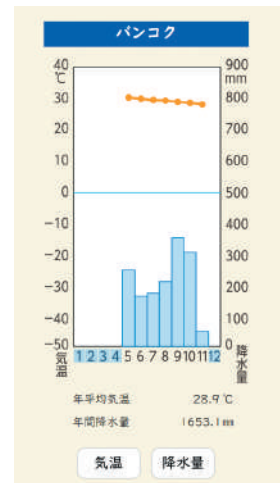
授業の改善案・さらに活用するポイント

● 各本時ページの「**語句まとめ**」の機能は、「学習のまとめと表現」の学習時に使って学習内容を全体で振り返らせたり、次の時間の最初に使って復習させたりすることで、知識の習得を促すことができる。**内容を提示して語句を答えさせる**ことも、**語句を提示して内容を説明させる**こともできるため、生徒の実態や発達段階に応じて工夫して活用したい。

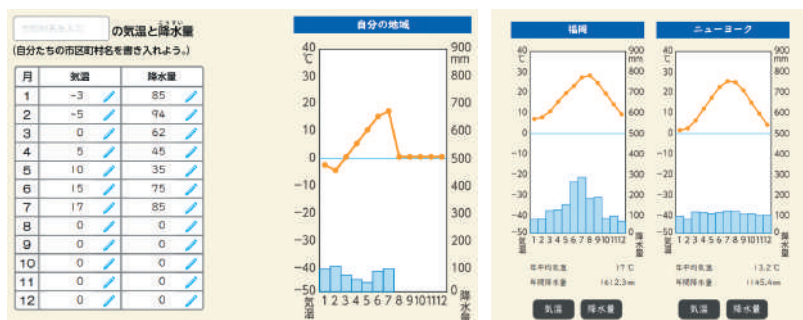
雨温図を選べる！ 作れる！ 比較できる！～地理～

気温、降水量のグラフを個別に、または月ごとに表示することができるため、地域の気候の特徴的な部分に焦点化することができます。

p.29 ▶



「雨温図ツール」から、いつでも任意の地点の雨温図を表示できます。自分で作成したり、並べて表示したりすることもでき、地理の学習全体を通して役立ちます。



段階ごとに分解した、工夫された資料提示～公民～



情報量の多い図版を順を追って表示することができ、生徒の理解が深まります。特に、経済領域の「流通」や「金融」などのしくみを解説した資料を提示する際に役立ちます。

◀ p.157

